

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		土木事務所維持管理(庶務事務)				整理番号	633		枝番号				
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	684		
係名		工務係				上位施策名			No				
予算事業名		土木事務所維持管理		コード	56900		まちづくり施策の執行体制の確保			1			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 32年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法 第281条								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区土木公園事務所庶務規程								
	土木事務所・維持課職員、材料置場等関連施設利用者、施設管理人				(3) 杉並区立区立施設管理人及び管理人室使用要綱								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 施設の運営にあたり、日常的・定期的業務並びに修繕を計画し、それに基づき適切な保全・維持管理を行う。				活動指標名(式) (1) 保全・維持管理面積 (2)								
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 施設の機能・性能を常に良好な状態にし、安全で能率的な環境を確保する。				成果指標名(式) (1) 不具合処理率 不具合処理件数/点検及び破損件数 (2)									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		㎡	3,448		2,113		2,113	2,113	2,206			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	96		100		100	100	100			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	39,344		40,259		14,588	15,184	17,789	特記事項		
	(内)委託費		千円	9,624		8,772		3,802	3,573	3,851			
	職員数(正規 非常勤)		人	5.31		3.29		3.29		3.16			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	48,231		29,883		29,883	28,702	28,702		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0		
	総事業費 + +		千円	87,575		70,142		44,471	43,886	46,491			
	単位あたりコスト ÷		円	25,399		33,195		21,046	20,770	21,075			
	財源	受益者負担分		千円	196		154		108	88	153		
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	196		154		108	88	153		
差引:一般財源 -		千円	87,379		69,988		44,363	43,798	46,338				
受益者負担比率 ÷		%	0.2		0.2		0.2	0.2	0.3				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初は事務所が土木と公園に別れていたが、平成5年度に統合され土木公園事務所が4箇所となった。同時に区内を二分して管轄するように工事第一課・第二課が組織されたが、平成13年度から区内全域を維持課が管轄。事務所も土木と公園に分割されそれぞれ2箇所組織された。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)												
	今後の予測		施設の老朽化は年々進み、防災を含めた安全性の確保が重要である。日常点検を徹底して大規模修繕の予防に努めるが、修繕費用は上昇する見込みである。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	104.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	光熱水費は前年度より18.3%削減できた。 予算流用により、老朽化した管理人室を改修した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	南土木事務所において、交換機の老朽化により通話に支障が出る電話機が多くなったため、デジタル交換機設置工事を行う。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 維持管理という性質上、施策への貢献度を図るのは難しい。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区有施設であるため、区が行うべきである。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 対象を変更する余地はない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 施設管理人の光熱水費等使用料の見直し。光熱水費の節約。施設の不具合箇所の早期発見による修繕費の低減。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設管理人の光熱水費等使用料の見直しについては、配線工事等を行い事務所とは別のメーターを取り付けなければならない。また、他の施設管理人とのかかわりもあるので全庁的な対応が必要。施設の日常点検を適確に行うためには、ある程度専門的な知識を要する。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	他施設との集合契約による清掃・保守点検等経費の削減。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		占用・使用許可、取締				整理番号	634		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221610	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	704					
係名					監察指導係			上位施策名		No					
予算事業名					占用・使用許可、取締		コード	57700		道路交通体系の整備	5				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 道路法第16、42、46、71条								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 河川法第9、75、89条								
	土木施設(道路・河川・橋梁及び公共溝渠等)の利用者				(3) 杉並区公共溝渠管理条例										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)										
道路・河川・橋梁及び公共溝渠等の監察。不法占用・不正使用物件の調査取締り				(1) 建築確認に伴う不法占用の是正指導活動回数											
				(2) 道路等不正使用及び放置バイクに対する指導等の活動回数											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)											
安全で快適な歩行空間を確保する。				(1) 建築確認に伴う指導により是正された面積											
				(2)											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%				
							計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		回					1,526							
	活動指標(2)		回					1,317							
	成果指標(1)		m ²					171							
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	751		965		1,369		941		1,387		特記事項 指標については、14年度新たな指標を設定したため、12年度、13年度との比較はできない。	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	16.18		10.00		10.00		10.00		10.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	146,963		90,830		90,830		90,830		90,830		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	147,714		91,795		92,199		91,771		92,217			
	単位あたりコスト ÷		円							60,138					
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円	443		386		423		242		518		
		特定財源計 +		千円	443		386		423		242		518		
差引:一般財源 -		千円	147,271		91,409		91,776		91,529		91,699				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		特になし												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		水路等の不法占用や商品、広告物、放置バイクの道路不正使用に対する要望・苦情が寄せられている。												
	今後の予測		水路等の不法占用は少しずつながらも是正されてきているが、道路等の不正使用については、依然後を絶たない傾向にある。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%		活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	68.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	道路・河川・橋梁及び公共溝渠における不法占用・不正使用の是正に向け、警察との連携した取り組みやパンフレットによる区民への啓発活動を行った。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由:水路等の不法占用の是正は、一步一步着実に成果を上げてきている。一方道路等の不正使用は、是正指導を繰り返し行っているが、依然不正使用が後を絶たない現状にあり、引き続き粘り強い取り組みを行っていく必要がある。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由:道路等土木施設は、区が責任を持って管理すべき施設であるため			
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ ▼	理由:水路等の不法占用の是正は、不法占有者との交渉が主であり、関係機関による総合的な対応と不法占有者との継続した取り組みが重要となる。現在、是正指導の方策は、他課との連携のもと粘り強い継続的な取り組みを実施しており、この方策以外には特段の方策は見当たらない。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由:土木施設の維持管理は区の責務であり受益者負担にはなじまない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由:道路法等の法令により対象が明確に規定されており、対象の縮小又は拡大といった余地はない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由:監察業務は、不法占有者・不正使用者に対する是正指導など住民対応が主であり、さらなる削減の余地はない。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 来年度を持って全ての公共溝渠敷が区に移管される等を鑑み、公共溝渠敷のあり方について現在検討を進めている。今後、その検討結果を踏まえて不法占用の是正指導を進め、公共溝渠敷の整備を図っていく。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	住民対応が主であり、事業費の増減は見込めない。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水樹清掃				整理番号	635		枝番号			
所属部課名	都市整備部維持課			コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	706		
係名	私道整備担当係長				上位施策名				No			
予算事業名	私道整備助成			コード	57850		道路交通体系の整備				5	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区私道の整備に関する条例							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 私道管理者及び沿道住民				(2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 事業内容を年1回(年度当初)広報に掲載し年間を通じて申請を受け付けている。申請を受けた私道の雨水樹を年に1度清掃をしている。				活動指標名(式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 私道の排水処理を良好にすることにより、雨水樹からの悪臭を取り除き道路環境を保全し、沿道住民の衛生環境や生活環境を確保する。				成果指標名(式)							
		区分	単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
						計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		個	402	331	600	585	600				
	活動指標(2)		件数	58	47		41					
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)		%	50	41		98					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	814	738	1,218	1,108	1,218	特記事項			
	(内)委託費		千円	814	738	1,218	1,108	1,218	申請主義のため目標値は定めない。			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.63	0.02	0.02	0.02	0.02				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,722	182	182	182	182			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	6,536	920	1,400	1,290	1,400				
	単位あたりコスト ÷		円	16,259	2,779	2,333	2,205	2,333				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	6,536	920	1,400	1,290	1,400					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度までの申請個数は、年間800個前後だったが11年度以降年々減少してきている。このため14年度より計画個数を減らし実情に合った計画とした。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		個人、町会での雨水樹清掃は、汚泥の処理などの問題があるので区で清掃をしてほしい。今、若い人がいなくなってきたので自分たちで掃除が出来なくなってきた。申請書を維持課の事務所まで取りに行くのは大変だから持って来てもらいたい。									
	今後の予測		15年度から広報で年2回のPRをする予定となっているので、減少傾向にある程度歯止めが掛かると思われる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	97.5	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	91.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	申請されたものは、全て処理をしている。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	請負契約を早めに行い、契約期間を年度末の3月中旬とし、いつでも対応できる体制とした。また、広報でのPRを年2回にすることにし、申請件数、個数の増加を図る。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 申請箇所の私道については、降雨による道路排水機能を回復させ冠水の防止に役立った。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 雨水柵の所有者、管理者がはっきりしない。また、清掃後の汚泥等の処理の問題があり、区で清掃することが適切である。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 受益者負担とした場合、申請数が極端に減り、この事業の意味がなくなってしまう。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 雨水柵を対象としているため、対象を変更することはできない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他)	理由: ただ単に雨水柵一個のコストを下げることは出来ない。清掃個数を増やすことによって相対的にコストを下げることは出来る。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 今年度から広報に年度当初と10月に事業概要を掲載する予定とし、区民に今まで以上に周知をすることで、申請件数の増加を図り清掃個数を増やす。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		舗装新設等工事				整理番号	636		枝番号		
所属部課名	都市整備部維持課			コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	707	
係名	私道整備担当係長				上位施策名				No		
予算事業名	私道整備助成		コード	57850		道路交通体系の整備				5	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区私道の整備に関する条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 私道管理者及び沿道住民				(2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 事業内容を年1回(年度当初)広報に掲載し、年間を通じて申請を受け付けている。申請のあった私道の舗装新設あるいは舗装改修、小補修を順次行っている。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 沿道住民及び一般通行者の安全と利便性を高める。				成果指標名(式)						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		m ²	11,026	10,425	9,600	8,582	9,600			
	活動指標(2)		件数	87	94		80				
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)		%	115	109		89				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	129,005	164,157	113,320	138,060	110,160	特記事項 申請主義のため目標値は定めない。		
	(内)委託費		千円	129,005	164,157	113,320	138,060	110,160			
	職員数(正規 非常勤)		人	3.76	2.98	2.98	2.98	2.98			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	34,152	27,067	27,067	27,067	27,067			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	163,157	191,224	140,387	165,127	137,227			
	単位あたりコスト ÷		円	14,797	18,343	14,624	19,241	14,294			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	163,157	191,224	140,387	165,127	137,227				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		申請件数は、近年徐々に減少傾向にある。内容は、舗装新設が減少し、改修、補修が増大してきている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		私道の管理者、利用者の負担が無いことから、私道舗装への期待は非常に大きい。区へ頼めば何でもやってくれるという過大な期待もある。私道自体を区で管理してもらいたいという要望も多くなってきた。								
	今後の予測		区内の私道は、ほぼ舗装整備は完了したといえる。今後は、老朽化した舗装の改修、補修が増大していくと思われる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	89.4	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	121.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	事前調査を行い、条例及び条例施行規則に適合しかつ舗装状態が悪いものは申請を受け付けて整備をしている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	第2次行財政改革実施プランに盛り込み、私道整備助成のあり方を検討している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 住民の要望に十分に応えている。道路状態も良くなり、通行の安全性が確保され生活環境の改善に役立った。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区民が使う公共性の高い私道が多くある。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担の考え方を取り入れ、区が全額を負担しない。また、助成金制度にして整備工事は地元と業者の契約とし、その工事費に対して助成金を交付する。今年度に検討し条例改正を行う予定である。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 条例改正が伴うため、区民、議会の理解を得る必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	今年度に条例改正がなれば、来年度から予算を減らせることが出来る。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		排水設備工事助成				整理番号	637		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	708				
係名		私道整備担当係長				上位施策名			No						
予算事業名		私道整備助成		コード	57850		道路交通体系の整備			5					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区私道の整備に関する条例										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 私道排水設備利用者				(2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 事業内容を年1回(年度当初)広報に掲載し、年間を通じて申請を受け付けている。その工事費に対して助成金を交付している。 助成率は、告示後3年以内 100% 告示後3年を越える 90% 改修 90%				活動指標名(式) (1) 施工延長 (2) 助成件数										
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 沿道住民の衛生環境を向上させる。				成果指標名(式) (1) 申請に対する処理率 (2) 計画数量に対する処理率										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		m	394		250		670		276		670			
	活動指標(2)		件数	7		6				5					
	成果指標(1)		%	100		100		100		100		100			
	成果指標(2)		%	44		37				41					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,607		17,383		25,620		25,454		25,620		特記事項 申請主義のため目標値は定めない。	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	1.25		1.25		1.25		1.25		1.25			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,354		11,354		11,354		11,354		11,354		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	35,961		28,737		36,974		36,808		36,974			
	単位あたりコスト ÷		円	91,272		114,948		55,185		133,218		55,185			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	35,961		28,737		36,974		36,808		36,974				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		以前は、数十件の申請があったが、ここ数年は改修のみで10件にも満たない申請数である。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		下水管設置あるいは改修工事の助成金交付の事業であるため、住民の期待は大きい。下水管の老朽化により汚水桝から本管につなぐ管が壊れることが多くなり、その管の修理費用を区が負担してほしいとの要望がある。												
	今後の予測		私道の排水設備の整備は完了したといえる。今後は、老朽化した排水設備の改修が増大していくと思われる。また、現在の条例では出来ないが、部分的な補修の要望が増えてくると予想される。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	41.2	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	99.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	事前調査を行い、条例及び条例施行規則に適合しかつ状態が悪いものは申請を受け付けて整備をしている。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 衛生環境が改善され、生活環境の向上に役立った。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区は、衛生環境を向上させていく義務があり、公共性もあることから区で行うことが適切である。			
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由: 生活廃水の排除施設であるため、現在の設備以上のものはいない。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 設計等でコストは最低限におさえてある。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 助成率、対象を縮小すれば経費は削減される。そのためには、受益者負担のあり方を検討する必要がある。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 助成率の見直しを行う場合、区民、議会の理解を得る必要がある。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	受益者負担のあり方検討部会で検討する予定である。その結果によって方向性が出てくる。当面は予算の増減は考えていない。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水流出抑制対策(私道)				整理番号	638		枝番号			
所属部課名	都市整備部維持課			コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	709		
係名	私道整備担当係長				上位施策名				No			
予算事業名	私道整備助成		コード	57850		水害対策の推進				10		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 2年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区私道の整備に関する条例							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 水害のおそれのある地域の住民				(2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則							
					(3) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 交通量の少ない私道の舗装を透水性にすること。また、透水性舗装をして数年が経過し、透水能力の落ちた舗装に対して洗浄を行い透水能力の回復を図る。				活動指標名(式)							
				(1) 透水性舗装工事面積								
				(2) 透水性舗装洗浄面積								
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 雨水の浸透量を増やし、下水道への雨水流入を減らすことで河川の増水を抑制し、台風や集中豪雨時の水害を防止する。				成果指標名(式)								
				(1) 雨水の地下への浸透量(施工による量)								
				(2) 雨水の地下への浸透量(洗浄による量)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画		実績		年度			
指標	活動指標(1)		m ²	940	933	2,000	62	2,000				
	活動指標(2)		m ²	1,448	1,487	1,500	1,502	1,500				
	成果指標(1)		m ² /h	28	28	60	2	60				
	成果指標(2)		m ² /h	43	45	45	45	45				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,711	12,795	26,376	1,125	24,776	特記事項			
	(内)委託費		千円	12,711	12,795	26,376	1,125	24,776	申請主義のため目標値は定めない。			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,354	11,354	11,354	11,354	11,354			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	24,065	24,149	37,730	12,479	36,130				
	単位あたりコスト ÷		円	25,601	25,883	18,865	202,250	18,065				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	24,065	24,149	37,730	12,479	36,130					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初、わずかであった透水性舗装の道路も年々増加してきている。近年、都市型水害は河川付近だけでなく区内の低地部にも被害をもたらしている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		雨水を地中に戻すことによる、水害防止や地下水保護の意義を理解して、協力的ではあるが、耐久性の面で通常の舗装に比べ劣るため、希望するところが少なくなっている。									
	今後の予測		区内の不浸透面積は都市化により、ますます拡大されていくと思われる。そのために、透水性舗装の重要性が増していくと考えられる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	3.1	活動指標(2)の14年度達成率%	100.1	14年度予算執行率%	4.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	透水性舗装の希望箇所が極端に少なく、計画量に満たなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	透水性舗装については、舗装新設等工事の中で施工しているので、第2次行財政改革実施プランに盛り込み、私道整備助成のあり方を検討している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 都市型水害の防止のためには有効であるが、その成果が目に見えて現れにくい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 自治体として取り組む問題である。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 透水性舗装については、舗装新設等工事の中で行っているため、受益者負担の考えを取り入れ、16年度から実施予定とする。透水性舗装洗浄については、義務的業務のため、受益者負担は考えていない。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 助成率等の見直しを行う場合条例改正が伴うため、区民、議会の理解を得る必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 今年度に条例改正がなれば、来年度から予算を減らすことが出来る。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路維持補修				整理番号	639		枝番号							
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	710～712					
係名		工務係			上位施策名				No							
予算事業名		道路維持補修		コード	57900		道路交通体系の整備				5					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				28 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法 第281条											
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路法 第16条1項											
	区道(区有通路等を含む)を利用する歩行者や通過車両及び沿道住民。				(3) 道路法 第42条1項 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 区道(区有通路等を含む)の日常の点検調査や住民からの要望等により、道路の維持補修等を行い適正な管理を図る。				活動指標名(式)											
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 利用者にとって安全で快適な道路環境を維持する。				成果指標名(式)												
				(1) 補修面積												
				(2) 透水性洗浄面積												
				(1) 要望処理率 処理件数/要望件数												
				(2) 雨水の地下への浸透量 0.03m ³ /m ² (1時間あたり)												
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度				目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
							計画		実績		15年度計画			年度		
指標	活動指標(1)		①	m ²	35,339		24,987		34,900		27,599		34,900			
	活動指標(2)		②	m ²	15,232		15,216		15,000		14,983		15,000			
	成果指標(1)		③	%	98		98		100		100		100			
	成果指標(2)		④	m ³ /h	457		456		450		450		450			
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	463,118		474,705		456,199		458,875		452,195		特記事項	
	(内)委託費		⑥	千円	22,227		18,269		21,052		20,791		21,790			
	職員数(正規 非常勤)		⑦	人	14.94	1.00	10.96	2.00	10.96	2.00	10.45	2.00	10.45	2.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		⑧	千円	135,700		99,550		99,550		94,917		94,917		
		非常勤職員分		⑨	千円	2,935		5,870		5,870		5,870		5,870		
	総事業費⑤+⑧+⑨		⑩	千円	601,753		580,125		561,619		559,662		552,982			
	単位あたりコスト⑩÷①		⑪	円	17,028		23,217		16,092		20,278		15,845			
	財源	受益者負担分		⑫	千円											
		国・都等からの支出金⑬		⑬	千円											
		特定財源計⑫+⑬		⑭	千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源⑩-⑭		⑮	千円	601,753		580,125		561,619		559,662		552,982				
受益者負担比率⑫÷⑩		⑯	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		道路に対する要望は、住民の意識の変化が多様化され、特に最近では、環境面や、安全性、利便性等総合的対策を含め、現状よりさらに質の高い道路整備の要求が増えてきている。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		要望に対する的確な判断、迅速な対応を求めている。													
	今後の予測		国有財産の譲与や認定道路、区域変更等により、区道の管理延長及び面積の増加が見込まれる。また、交通量も更に増えると予測される。													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	79.1	活動指標(2)の14年度達成率%	99.9	14年度予算執行率%	100.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	緊急で井草川遊歩道の補修工事を実施したため、事業費が計画を上回っている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	急速な改修計画のたたない路線については、切削カバーで対応している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)		理由:安全で快適な道路環境を維持するため、住民の要望に可能なかぎり応えている。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である		理由:管理者の責務である。			
	(3) ①成果を向上させることができますか ある程度できる() ②成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ↓ 事業費・活動量の増加		理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)		理由:区が管理者として維持補修するものであり、受益者負担は考えていない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)		理由:区道(区有通路等を含む)の管理は住民サービスの一環であり、対象を変えることは出来ない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)		理由:工事費は積算基準に基づき見積もりを行っており、コストを下げることは出来ない。			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業費を増やすことにより、管理面積の増加、住民からの要望等の対応が可能となり、サービスの向上が図れる。ただし、当面は応急処置である補修を主体に対応する。また、現在、道路整備・維持補修のあり方検討会で現状の問題点を整理し、今後の方向について検討しており、その結果を見極め対応していきたい。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現状では、改修事業で追いつかないところを維持補修事業で行っている部分が多いため、改修事業と合わせて改革案を考える必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路等清掃			整理番号	642		枝番号				
所属部課名		都市整備部維持課			コード	221601		連絡先電話番号	4603			
係名		工務係			上位施策名			No				
予算事業名		道路等清掃			コード	57950		道路交通体系の整備	5			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 28年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法 第281条 (2) 道路法 第42条1項 (3)							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区道を利用する歩行者や通過車両及び、沿道住民。											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 清潔な道路環境を維持するために、清掃対象路線(区道)の清掃を行う。				活動指標名(式) (1) 道路清掃延長 (2)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者に不快感を与えない清潔な道路環境を維持する。				成果指標名(式) (1) 清掃回数 清掃総延長(km) / 清掃対象路線延長(50km) (2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標(1)		km	2,413		2,529		1,800	1,948	1,800		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		回	48		50		36	38	36		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	91,348		81,987		60,831	59,098	64,797	特記事項	
	(内)委託費		千円	88,715		80,467		60,393	58,853	64,359		
	職員数(正規 非常勤)		人	5.29		2.44		2.44		2.34		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	48,049		22,163		22,163	21,254		21,254
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0		0
	総事業費 + +		千円	139,397		104,150		82,994	80,352	86,051		
	単位あたりコスト ÷		円	57,769		41,182		46,108	41,248	47,806		
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0		0
差引:一般財源 -		千円	139,397		104,150		82,994	80,352	86,051			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		失業対策の一環として始められた事業であるが、現在では民間委託へ移行(機械化)している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		住民自ら清掃を行っている箇所があり、路線見直しの声もあったため、平成12年度に清掃対象路線を見直した。									
	今後の予測		清掃対象路線については、より選定に注意を払う必要がある。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	108.2	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	97.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	平成14年度においては、道路清掃は目標値を達成している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成14年度においても、対象路線を50kmで清掃したが、更に路線の精査を行う。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 清潔な道路環境が維持できており、環境美化や衛生面の見地からも必要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由: 道路管理者である区が、行う必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路は不特定多数の人が利用するため、受益者負担の考え方はなじまない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 現在では民間委託へ移行(機械化)しており、コストを下げることは難しい。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 平成12年度に清掃路線を精査し、対象路線を120kmから50kmに見直しを行ったが、今後も段階的に対象路線を見直しに行く。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 規模の縮小を図るには、住民の協力が不可欠である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水のみち維持補修				整理番号	643		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221610	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	714		
係名		工務係			上位施策名				No			
予算事業名		水のみち維持補修		コード	58050	道路交通体系の整備				5		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第281条							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路法第42条1項							
	水のみち(水路敷を埋め立てた歩行者専用道路)の利用者及び沿道の住民。				(3)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 破損箇所の補修工事や、境界が是正された箇所の側溝の移設工事等を行う。				活動指標名(式)							
				(1) 維持管理面積								
				(2) 補修面積								
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 利用者の安全な通行の確保と、地先との境界線の明確化を進めながら適正な管理状態にする。				成果指標名(式)								
				(1) 補修及び整備対応率								
				(2) 整備対応率 補修面積/計画補修面積								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画		実績		年度			
指標	活動指標(1)		㎡	94,733	94,733	94,701	94,701	94,667				
	活動指標(2)		㎡	1,641	1,385	1,300	1,186	1,300				
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)		%	133	112	100	91	100				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,392	30,650	23,946	23,913	27,757	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.02	0.81	0.81	0.78	0.78				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,265	7,357	7,357	7,085	7,085				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	37,657	38,007	31,303	30,998	34,842				
	単位あたりコスト ÷		円	398	401	331	327	368				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	37,657	38,007	31,303	30,998	34,842					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		水のみちは下水道の普及とともに昭和30~40年代に一齐に埋め立てられた水路敷で、貴重な歩行空間であるが、近年老朽化が目立ってきている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		舗装、側溝の破損や水が溜まるなどの要望がある。									
	今後の予測		今後も舗装の破損や境界の是正が日常的に生じ、事業を継続する必要がある。また、地方分権一括法の施行により財産が区に譲与されるため、公共用地の保全を図ることが不可欠である。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	91.2	14年度予算執行率%	99.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	補修及び整備をほぼ計画通りに実施できた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	水路のあり方検討会を立ち上げ、現在検討中である。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者の安全な通行の確保と地先境界線の明確化を図るためには、水のみちを適切に維持管理する必要がある。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的事業である	理由: 区内の歩行系、道路のネットワーク化に欠かせない公共空間であり、公共事務として区が行う必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由: 一般の歩行者が通行する公共空間の維持補修であり、受益者負担は考えていない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 利用者及び沿道住民を限定できない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 定期的に工法及びコスト縮減に検討を重ね努力してきた。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 現在の事業規模は低レベルの維持管理であり、これ以上縮小はできない。地方分権一括法の施行により財産が区に譲与され境界の是正を図ることが急務となっている。現在水路のあり方検討会で現状の問題点を整理し、今後の方向について検討しており、その結果を見極め対応していきたい。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業費の増加 境界を明確にし、整備にあたっては土木管理課区域調査係、維持課監察指導係との連携を図っていく。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 境界が明確になることにより、境界是正工事の増加が見込まれるため、工事費も増える。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路樹等維持管理				整理番号	644		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	715,716	
係名		工務係			上位施策名				No		
予算事業名		街路樹等維持管理		コード	58100	道路交通体系の整備				5	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 28年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法 第281条 (2) 道路法 第42条及び第85条 (3) 杉並区公共溝渠管理条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 街路樹がある区道(井草川遊歩道、駅前広場を含む)の利用者。										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 街路樹及び道路緑地樹木の適正な維持管理及び、駅前広場の噴水設備の点検、清掃等を行う。				活動指標名(式) (1) 街路樹の維持管理本数 (2) 駅前広場の清掃回数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 良好な道路景観や歩行空間を創出し、交通騒音等による沿道環境の悪化を改善する。また、駅前広場においては水とみどりに親しむ憩いの場を提供する。				成果指標名(式) (1) 要望対応処理率 処理件数/区民要望件数 (2) 清掃実施率							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標(1)		本	6,593	6,726	6,906	6,905	6,925			
	活動指標(2)		回	50	50	100	100	100			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	51,049	50,502	56,169	52,870	54,140	特記事項		
	(内)委託費		千円	47,103	46,412	47,531	44,774	50,294			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.01	0.24	0.24	0.23	0.23			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,174	2,180	2,180	2,089	2,089			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	60,223	52,682	58,349	54,959	56,229			
	単位あたりコスト ÷		円	9,134	7,833	8,449	7,959	8,120			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	60,223	52,682	58,349	54,959	56,229				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		車社会を背景に、激増する車交通と安全対策のため、道路整備事業の進展がみられた。それらに伴って本事業が開始されたが、区道は幅員の狭い生活道路が多いため、街路樹の整備はさほど進展していない。一方、駅前広場の噴水においてはシンボリックな存在であり、区民にとって憩いの場となっている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		区道は幅員の狭い生活道路が多いため、街路樹の落ち葉や日陰に対する苦情が多く、また噴水施設のある駅前広場は少ないので、きれいで清潔な状態を望む声が多い。								
	今後の予測		沿道環境の悪化に伴う環境改善と、だれもが安全快適に歩行できる道路環境整備が必要であり、みどりのネットワークの構築をはじめ、歩行等に障害にならない街路樹維持管理が求められる。また、噴水施設においては、施設の老朽化が進んでおり、将来大規模な修繕工事の必要がある。当事業では、今後のあり方としてアダプトプログラム(里親制度)の対象として検討中である。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	94.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	施設維持であり計画どおり実施。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	街路樹をはじめとした公共施設から発生する剪定枝葉の再資源化のあり方と、利用の方法などについて、検討中である。また、平成14年度より駅前広場の清掃回数を増やしており、阿佐ヶ谷駅前花壇については、都立農芸高校の授業の一環として植付け及び管理を委託した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 街路樹の多くは、みどりの少ない地域にあるため、みどりの保全創出効果は大きい。また、噴水施設については清掃により、良好な環境を提供している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(区民との役割分担、協働)	理由: 高木の剪定や害虫駆除等の作業を除き、住民参加を検討する。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 今後のあり方として、一部の区道路線及び駅前広場についてアダプトプログラム(里親制度)の対象として検討中である。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の参加意識を高めることが難しい。駅前広場は常時利用しているため、清掃回数など清掃するボランティアへの負担が大きい。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 阿佐ヶ谷駅前花壇については、平成16年度も引き続き、都立農芸高校に管理の委託を検討する。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全施設維持補修				整理番号	645		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	732		
係名 交通安全施設係					上位施策名				No			
予算事業名 交通安全施設維持補修					コード	61900		交通安全の推進			6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				36 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路法第42条							
	区が管理する道路の利用者				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 破損した交通安全施設の補修工事及び、道路反射鏡・ガードレール・配電型交差点鈺の清掃を行う。配電型交差点鈺の電気料金を支払う。				活動指標名(式) (1) 修理件数(反射鏡・防護柵・標識)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持することにより、道路利用者の安全を確保する。				成果指標名(式) (1) 稼働率 = (管理数 × 365日 - 修理件数 × 修理日数) ÷ (管理数 × 365日)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		件	666	543	549	605	499				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	99.9	100.0	100.0	99.9	100.0				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	63,109	55,403	55,241	54,482	50,474	特記事項			
	(内)委託費		千円	59,947	52,931	52,542	51,852	48,623	H14年度修理対象管理数 ・反射鏡 6,026面 ・防護柵 12,282基(3m/基換算) ・標識 1,482枚 計 19,790 H14年度修理件数 ()内、個所あたり修理日数 ・反射鏡410件(3.5日) ・防護柵172件(18日) ・標識23件(9.9日) H13年度交通安全施設清掃 ・道路反射鏡面および配電型交差点鈺清掃は年1回実施、防護柵は1/3実施。			
	職員数(正規 非常勤)		人	2.15	2.24	2.47	2.45	2.66				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	19,528	20,346	22,435	22,253	24,161				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	82,637	75,749	77,676	76,735	74,635				
	単位あたりコスト ÷		円	124,080	139,501	141,400	126,835	149,469				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	82,637	75,749	77,676	76,735	74,635					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		主な交通安全施設の管理数値(各年4月1日) ・防護柵 S47 29,800m S57 40,489m H4 39,375m H14 36,846m ・道路反射鏡 " 1,198本 " 3,386本 " 4,327本 " 4,732本 ・道路標識 " 1,414本 " 1,632本 " 1,849本 " 1,469本									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測		主だった危険箇所については既に交通安全施設の整備が進んでおり、今後は大幅な交通安全施設の増加はない。因って、維持補修工事等の件数についても同様に現状維持若しくは微増で推移するものと予測する。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	110.1	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	98.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	職員が通常事務の傍ら、交通上の妨げとなる沿道樹木の枝除去や交通事故による施設破損の緊急対応など、率先して交通安全施設の応急的な保全作業を行って、業者委託経費の節減に努めた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	・交通安全施設清掃に併せて調査点検を行い、結果を管理台帳作成に反映することができた。 ・防護柵管理数の減少と改良事業の進捗状況から、15年度予算においてガードレールの清掃及び補修工事を削減した。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:道路交通の安全を確保するためには、交通安全施設を適正に管理し、その機能を保持することは重要なことである。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。また、原因者が特定できる施設損傷の補修は、原因者に復旧義務を課している。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:事業を必要としている道路は不特定多数の人が利用するので、対象の縮小や拡大はない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合			
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・道路反射鏡鏡面の交換に際して、従来のガラス製鏡面を耐久性の高いステンレス製に改め、事故損傷等による交換頻度を少なくすることにより、鏡面を長寿命化する。これにより将来的な補修経費の減少及び廃棄物による環境負荷の軽減を図る。 ・平成16年度の1年間、道路反射鏡鏡面清掃の実施を見合わせ、影響を検証する。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・機能向上に伴い初期経費の増加が生じる。これと、鏡面交換の頻度が減ることによる長期的経費の抑制及び、交通安全施設清掃の見直しによる事業経費減を相殺し経費の抑制を図る。 ・局所的に清掃の必要性が生じた場合は、その都度必要に応じて対応する。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 ・一般市場の工事価格と整合性をとる必要から設計工事費の見直しを行っており、その結果により予算見積りの増加が見込まれる。 ・反射鏡面の耐久性向上に伴う経費増が見込まれる。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路反射鏡新設・改良				整理番号	646		枝番号				
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	733			
係名					交通安全施設係			上位施策名		No			
予算事業名					交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進	6		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		43年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法第2条及び第85条						
	区が管理する道路の利用者				(3) 道路法施行令第34条の3								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)								
見通しの悪い交差点や屈曲部等に道路反射鏡を新設し、道路の視距を改善する。また、老朽化した施設の改良及び更新を行う。				(1) 新設・改良数									
				(2) 管理数値(鏡面数)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)									
道路利用者に対し十分な視距離を確保して、道路交通の安全を保つ。				(1) 整備対応率 = 管理面数 ÷ 交差点面数									
				(2)									
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		本	234	101	100	85	100					
	活動指標(2)		面	5,865	6,027	6,057	6,090	6,120					
	成果指標(1)		%	33	34	34	34	35					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,395	14,103	12,200	11,862	12,200	特記事項				
	(内)委託費		千円	24,395	14,103	12,200	11,862	12,200	平成14年度実績内訳 ・新設本数 54本 ・改良本数 31本				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.83	0.57	0.55	0.53	0.64					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,539	5,177	4,996	4,814	5,813					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	31,934	19,280	17,196	16,676	18,013					
	単位あたりコスト ÷		円	136,470	190,891	171,960	196,188	180,130					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	31,934	19,280	17,196	16,676	18,013						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		裏通りの交通事故発生件数 ・S56 413件 ・H3 658件 ・H13 1,174件										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・交差点の事故防止のため設置要望が多いが、道路利用者が反射鏡に頼りすぎ安全確認を怠るようになるとの意見もある。 ・歩行者対自転車、自転車対自転車の反射鏡設置要望がある。 ・私有地(行き止まり私道を含む)用反射鏡の公道に設置の要望があるが、公共性のないものは道路上に設置していない。 ・景観や眺望の悪化、地先改築に伴う道路施設移設は地先負担となることを理由に地先住民の理解が得られないことがある。										
	今後の予測		・沿道の建築等、道路状況の変化により、反射鏡新設の必要性が一定量生ずる。 ・施設の老朽化に応じた改修が必要となる。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	85.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.5	14年度予算執行率%	97.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	新設要望箇所及び改良必要箇所について、ほぼ計画どおり事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	地先の事由による反射鏡移設等工事の区負担については、他の道路付属物との整合が必要なため実施を見送った。なお、道路反射鏡の新設及び更新に際しては、設置場所を可能な限り既設電柱等へ共架とする等して道路上施設の統合を進め、沿道居住者の負担軽減と道路利用者の利便性の向上を図った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:見通しの悪い交差点の視距不足を解消する手段として、交通事故防止効果は大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的事業である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:事業を必要としている道路は不特定多数の人が利用するので、対象の縮小や拡大はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:現行予算が一般市場の標準工事費を下回る額のため、これ以上の削減は計画どおりの活動量を維持できない。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 道路反射鏡鏡の新設、更新に際し、従来のガラス製鏡面を耐久性の高いステンレス製に改め、事故損傷等による鏡面交換の頻度を少なくすることによって、将来的な補修経費の減少及び廃棄物による環境負荷の軽減を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 耐久性向上に伴い初期経費の増加が生じるが、鏡面交換の頻度が減ることによる長期的経費の節減及び、交通安全施設清掃の見直しによる経費削減を行い、事業全体としての経費抑制を図る。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	・一般市場の工事価格と整合性をとる必要から設計工事費の見直しを行っており、その結果により予算見積りの増加が見込まれる。 ・反射鏡面の耐久性向上に伴う経費増が見込まれる。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		警戒標識等新設・改良			整理番号	647		枝番号							
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	734				
係名				交通安全施設係				上位施策名		No					
予算事業名				交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第2条、第45条、並びに第85条 (3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令(昭和35年総理府建設省令第3号)								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
	区が管理する道路の利用者														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)										
交差点、道路の屈曲部、踏み切りなど危険箇所注意を喚起するための標識を、また道路管理者が行う規制箇所に周知のための標識を設置する。更に、老朽化した標識の改修を行う。				(1) 新設・改良数 (2) 管理数値(標識板の枚数)											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)											
道路利用者に対し、道路状況や沿道状況、注意の予告、また、規制の告示を行うことにより、道路交通の安全を確保する。				(1) 標識設置度 = 道路延長 ÷ 管理数 (2)											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		本	68		43		45		34		45			
	活動指標(2)		枚	1,494		1,482		1,482		1,478		1,478			
	成果指標(1)		m/枚	444		449		449		462		462			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,384		2,219		2,186		1,742		2,151		特記事項 平成14年度実績内訳 ・新設本数 2本 ・改良本数 32本	
	(内)委託費		千円	2,384		2,219		2,186		1,742		2,151			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.08		0.09		0.10		0.08		0.11			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	727		817		908		727		999		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	3,111		3,036		3,094		2,469		3,150			
	単位あたりコスト ÷		円	45,750		70,605		68,756		72,618		70,000			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	3,111		3,036		3,094		2,469		3,150				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		裏通りの交通事故発生件数 ・S56 413件 ・H3 658件 ・H13 1,174件												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。												
	今後の予測		施設の老朽化に応じた改修が必要となる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	75.6	活動指標(2)の14年度達成率%	99.7	14年度予算執行率%	79.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	平成14年度について、交通安全施設整備事業のうち点字ブロック整備要望が多く寄せられ、標識新設予算で対応したため標識の活動指標が計画に達しなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	交通状況にそぐわない標識は撤去するとともに、施設の更新に際しても可能な限り電柱等へ共架とする等、道路上施設の統合を進め、沿道居住者の負担軽減と道路利用者の利便性の向上を図った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 道路状況を利用者に把握させる効果が大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 事業を必要としている道路は不特定多数の人が利用するので、対象の縮小や拡大はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 現行予算が一般市場の標準工事費を下回る額のため、これ以上の削減は計画どおりの活動量を維持できない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 今年度以降も引き続き、交通状況や沿道状況の変化に対応して標識の整理統合を行う。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 一般市場の工事価格と整合性をとる必要から設計工事費の見直しを行っており、その結果により予算見積りの増加が見込まれる。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自発光式交差点鉦新設・改良				整理番号	648		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	735				
係名		交通安全施設係				上位施策名			No						
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進			6					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 46年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第2条及び第85条 (3) 道路法施行令第34条の3										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区が管理する道路の利用者														
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 夜間において交差点の所在を明示するため、点滅式の交差点鉦を新設する。また、老朽化した施設を改良する。				活動指標名(式) (1) 新設・改良交差点数 (2) 管理数値(設置交差点箇所数)										
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 夜間の交差点の所在を明確にすることで、出会い頭の事故等を防止し、道路利用者の安全を確保する。				成果指標名(式) (1) 整備対応率 = 設置交差点箇所数 ÷ 交差点箇所数 (2)										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%				
							計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		箇所	39		22		24	25	19					
	活動指標(2)		箇所	357		363		378	378	388					
	成果指標(1)		%	5.0		5.2		5.3	5.3	5.5					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,469		11,518		7,881	7,499	5,303	特記事項 平成14年度実績内訳 ・新設交差点 15箇所 ・改良交差点 10箇所				
	(内)委託費		千円	11,469		11,518		7,881	7,499	5,303					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.39		0.47		0.35		0.34				0.28	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,542		4,269		3,179	3,088			2,543		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0			0		
	総事業費 + +		千円	15,011		15,787		11,060	10,587	7,846					
	単位あたりコスト ÷		円	384,897		717,591		460,833	423,480	412,947					
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	15,011		15,787		11,060	10,587	7,846						
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		裏通りの交通事故発生件数 ・S56 413件 ・H3 658件 ・H13 1,174件												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		夜間の交通事故対策として区民の期待は高い。												
	今後の予測		施設整備は充実していることから大幅な需要増はないが、必要性は大きい。また、老朽施設の更新改良が必要となる。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	104.2	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	95.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	新設改良を含めて、ほぼ計画どおり事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	・実施計画の見直しにより、新機種を導入(配電型を太陽電池型に変更)して15年度予算を削減。 ・14年度単年度事業として試験的に停止線用の自発光鋸を整備した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 特に夜間における交差点内の事故防止に効果が大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 事業を必要としている道路は不特定多数の人が利用するので、対象の縮小や拡大はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 新機種の採用により、設置費の削減及び維持管理経費の節減を実施しているため、現段階ではコスト削減余地はない。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・幅員の広い交差点には、大型の機種を設置し視認性を高める。 ・事故が頻発する交差点、交差点中央が明るい交差点など、状況に応じて停止線にも自発光鋸を整備する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・整備経費の増加が見込まれるが、旧式鋸を撤去改修する際の道路掘削範囲を必要最小限として、工事費上昇を抑える。 (旧式の配電型鋸は引込柱、地中配線、発光器からなるが、新機種に更新時には引込柱と発光器のみ撤去する。配線部分は将来の舗装改修時に併せて撤去する。)					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 平成13年度より新機種への切り替えを進め設置経費を大幅に削減してきたが、交差点の状況に応じた機種の使い分けが必要と判断されたため、これに伴う予算見積り額の増加が見込まれる。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		白線整備			整理番号	649		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	737			
係名				交通安全施設係				上位施策名		No				
予算事業名				交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第2条、第45条、並びに第85条 (3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令(昭和35年総理府建設省令第3号)							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
	区が管理する道路の利用者													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				道路の舗装面上に、ペイントを用いて通行帯明示のための白線を引く。また、摩耗した白線を更新する。									
活動指標名(式)				(1) 白線施工延長 (2) 管理数値(白線設置延長)										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				車両及び歩行者の通行区分を明確にして、道路利用者に対し案内及び警戒を促すことにより、道路交通の円滑と安全を図る。										
成果指標名(式)				(1) 白線設置率 = 白線設置延長 ÷ 道路延長 (2)										
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%				
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		m	55,687	72,672	65,000	71,395	65,000						
	活動指標(2)		m	517,780	517,780	517,780	517,780	517,780						
	成果指標(1)		%	78	78	78	78	78						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,715	31,446	31,200	31,391	31,200	特記事項					
	(内)委託費		千円	24,715	31,446	31,200	31,391	31,200						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.84	1.27	1.39	1.41	1.65						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,630	11,535	12,625	12,807	14,987					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	32,345	42,981	43,825	44,198	46,187						
	単位あたりコスト ÷		円	581	591	674	619	711						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	32,345	42,981	43,825	44,198	46,187							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		裏通りの交通事故発生件数 ・S56 413件 ・H3 658件 ・H13 1,174件											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・白線摩耗箇所を更新するよう要望がある。 ・外側線は、道路交通法の路側帯と見なされることから警察および住民からの新設要望がある。 ・要注意箇所の路面に文字標示(法定外)をとの要望がある。											
	今後の予測		現状どおり推移する。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	109.8	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	100.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画どおり事業を執行した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	・危険交差点に対し、白線による視覚的狭くを実施した。 ・外側線(路側帯)がなく中央線が設置されている1路線について、中央線消去と外側線設置を行い、車線幅減少による車両速度の抑制及び路側帯新設による歩行者の安全を図った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 車両及び歩行者の通行区分を明確にすることで、接触事故を防止し安全な通行を確保する効果が大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 事業を必要としている道路は不特定多数の人が利用するので、対象の縮小や拡大はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 現行予算が一般市場の標準工事費を下回る額のため、これ以上の削減は計画どおりの活動量を維持できない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・白線による視覚狭くを引き続き実施する。 ・中央線が設置されている道路のうち、交通量が少なく生活道路として通過交通を抑制すべき道路については、中央線の必要性、車線と路側帯の幅員構成について再検討する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 中央線を廃止するには区画線消去費用が新たに必要となる。また、交通管理者との調整が必要となる。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 一般市場の工事価格と整合性をとる必要から設計工事費の見直しを行っており、その結果により予算見積りの増加が見込まれる。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		点字ブロック新設・改良				整理番号	650		枝番号					
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	738			
係名				交通安全施設係				上位施策名		No				
予算事業名				交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 東京都福祉のまちづくり条例 (3)							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
	区が管理する道路を利用する視覚障害者等													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)									
視覚障害者が道路を通行する際の補助となる誘導ブロックを、道路面上に設置する。				(1) 新設・改良枚数 (2) 管理数値(点字ブロック設置枚数)										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)										
視覚障害者を安全かつスムーズに目的地まで誘導する。				(1) 整備対応率 = 点字ブロック管理延長 ÷ 道路延長 (2)										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績	年度							
指標	活動指標(1)		枚	1,367	1,041	500	934	500						
	活動指標(2)		枚	12,839	14,635	15,135	14,990	15,240						
	成果指標(1)		%	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,642	5,515	5,643	6,828	4,050	特記事項					
	(内)委託費		千円	5,642	5,515	5,643	6,828	4,050						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.19	0.22	0.25	0.31	0.21						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,726	1,998	2,271	2,816	1,907					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	7,368	7,513	7,914	9,644	5,957						
	単位あたりコスト ÷		円	5,390	7,217	15,828	10,325	11,914						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円				3,414						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	3,414	0					
差引:一般財源 -		千円	7,368	7,513	7,914	6,230	5,957							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		視覚障害者数(身体障害者手帳交付者) ・S60.4 826人 ・H14.4 953人											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・障害者や団体から、駅と周辺の区立施設の経路上等への点字ブロックの設置要望がある。 ・点字ブロック上でのスリップ転倒、欠損による躓き事故防止に関する要望がある。											
	今後の予測		・交通量の増加による交通事故等の危険性が增大しているなかで、障害者の社会進出も進んできたことから、今後も整備拡充が必要。 ・事業実施初期に整備した施設の改修が必要となる。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	186.8	活動指標(2)の14年度達成率%	99.0	14年度予算執行率%	121.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	新設要望箇所及び改良必要箇所について、ほぼ計画どおり事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	実施計画見直しに際し15年度から新工法によるコストダウンと耐久性の向上を図った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 誰もが安全に通行できる道路とするため必要性が高い。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 事業を必要としている道路は不特定多数の人が利用するので、対象の縮小や拡大はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 交通バリアフリー法施行により新規需要が見込まれ、老朽施設の改修も必要となる。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 区道上の点字ブロックは、歩道が未設置の路側帯に設置されることが多く、車両の通行にも耐えられる強度を必要とする。区では一般的な平板ブロックに代えてシート工法を採用しているが、今後も、より耐久性のある工法について積極的に情報収集を行って新技術を導入して事業効果を高める努力をする。					
中長期的な視点	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
短期的な視点	(2) 理由 一般市場の工事価格と整合性をとる必要から設計工事費の見直しを行っており、その結果により予算見積りの増加が見込まれる。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すべり止め舗装				整理番号	651		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	739		
係名					交通安全施設係		上位施策名			No		
予算事業名					交通安全施設整備		交通安全の推進			6		
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 道路法第2条、第45条、第85条					
	区が管理する道路の利用者				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)							
道路のカーブ、交差点等の舗装面上にカラーすべり止め舗装を行う。				(1) 新設・改良面積								
				(2) 管理数値(施工累計面積)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)								
道路のカーブ及び坂路のスリップ防止、また交差点等における色彩の変化による注意喚起により交通事故を抑止する。				(1) 整備対応率 = 施工累計面積 ÷ 道路面積								
				(2)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		m ²	894	1,442	1,400	1,337	1,400				
	活動指標(2)		m ²	19,085	23,470	24,870	25,759	27,159				
	成果指標(1)		%	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,272	12,603	11,200	10,895	11,200	特記事項			
	(内)委託費		千円	8,272	12,603	11,200	10,895	11,200				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.28	0.51	0.50	0.49	0.59				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,543	4,632	4,542	4,451	5,359				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	10,815	17,235	15,742	15,346	16,559				
	単位あたりコスト ÷		円	12,097	11,952	11,244	11,478	11,828				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円				416				
		特定財源計 +		千円	0	0	0	416	0			
差引:一般財源 -		千円	10,815	17,235	15,742	14,930	16,559					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		裏通りの交通事故発生件数 ・H1 891件 ・H13 1,174件									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		すべり止めとしての要望は少ないが、事故が発生する恐れのある交差点部分のカラー化による事故防止要望が増えている。									
	今後の予測		整備は進んでいるが、摩耗箇所の更新と合わせて、危険な交差点等の明示方法としてのニーズが高まると予測される。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	95.5	活動指標(2)の14年度達成率%	103.6	14年度予算執行率%	97.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	ほぼ計画どおり事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	交通事故が多発する交差点や通学路などに重点的に整備拡充を図った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 交差点等の路面に変化をつけ、道路利用者の注意を喚起することで交通事故防止の効果がある。また、他の交通安全施設事業と複合的に実施することにより、最大限の効果を発揮している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 事業を必要としている道路は不特定多数の人が利用するので、対象の縮小や拡大はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 現段階では必要最低限の予算であり、これ以上コストを下げる余地はない。現在コストの低い新工法を検討中。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・環境への配慮から、滑り止め骨材に区内で発生した廃ガラス入り骨材の使用を検討する。 ・大規模施工に対応する省コストの新工法の導入を検討する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 廃ガラス入り骨材を使用した場合、材料コストの上昇が見込まれる。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	一般市場の工事価格と整合性をとる必要から設計工事費の見直しを行っており、その結果により予算見積りの増加が見込まれる。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		防護柵の改良				整理番号	652		枝番号				
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	740		
係名					交通安全施設係			上位施策名		No			
予算事業名					交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		6年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第2条及び第85条 (3)						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	区が管理する道路の利用者												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				老朽化した既存の歩車道分離防護柵(車道用ガードレールを歩道用として代用)を、交通状況や周囲の景観に配慮した歩道用防護柵に更新改良する。								
活動指標名(式)				(1) 各年度毎の改良延長 (2) 平成6年度以降の改良実績									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				車両が歩道等へ逸脱するのを防ぐとともに、歩行者がみだりに車道横断をするのを抑制することにより、道路利用者の安全を確保する。									
成果指標名(式)				(1) 改良率 = 改良延長 ÷ 防護柵延長 (2)									
区分	単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		m	851	991	1,000	974	700					
	活動指標(2)		m	9,781	10,772	11,772	11,869	12,569					
	成果指標(1)		%	27	29	32	32	34					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,732	37,699	20,000	19,768	14,000	特記事項 防護柵管理数値(H15.4.1) 36,680m				
	(内)委託費		千円	19,732	37,699	20,000	19,768	14,000					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.67	1.53	0.90	0.89	0.74					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,086	13,897	8,175	8,084	6,721				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	25,818	51,596	28,175	27,852	20,721					
	単位あたりコスト ÷		円	30,338	52,065	28,175	28,595	29,601					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円				11,658					
		特定財源計 +		千円	0	0	0	11,658	0				
差引:一般財源 -		千円	25,818	51,596	28,175	16,194	20,721						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		裏通りの交通事故発生件数 ・H6 749件 ・H13 1,174件										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・車両抜け道の歩行者の安全、違法駐車防止の対策として新設要望があるが、道路幅員が狭く設置不可能な路線が大半である。 ・防護柵は、宅地からの出入りなど沿道住民の生活に与える影響が大きいため、設置に対し地域全体の賛同が得られにくい。 ・事業の目的や必要性に関する質問があった。										
	今後の予測		改良計画の途中であり、既存施設の老朽状況を考慮の上で、今後も改良を進める必要がある。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	97.4	活動指標(2)の14年度達成率%	100.8	14年度予算執行率%	98.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画どおり改良を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	既設防護柵の耐用年数を考慮して実施計画を見直し、15年度から事業量を減少した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者等、道路利用者が安心して通行できる道路環境を整備する上での効果は大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的事業である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 事業を必要としている道路は不特定多数の人が利用するので、対象の縮小や拡大はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 個々の路線の交通環境に合わせた必要最低限の施設である。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 路線により種類が雑多であった防護柵の型式を一定数まで整理統統合し、また一部については構造も見直して整備経費の軽減と維持補修の効率化を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	一般市場の工事価格と整合性をとる必要から設計工事費の見直しを行っており、その結果により予算見積りの増加が見込まれる。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		立看板等			整理番号	653		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	741			
係名				交通安全施設係				上位施策名		No				
予算事業名				交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)									
	区が管理する道路の利用者				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路上の危険な箇所等に、交通標識や路面表示の補完として、道路利用者の注意を喚起するための簡易な立看板を設置する。				活動指標名(式) (1) 立看板設置数 (2) 管理数値(設置累計枚数)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路利用者に対し、道路形状や沿道状況の予告及び、交通マナー遵守を喚起することにより、道路交通の安全を確保する。				成果指標名(式) (1) 看板設置度 = 道路延長 ÷ 看板管理数 (2)										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		枚	137		113		130		154		130		
	活動指標(2)		枚	1,395		1,581		1,711		1,853		1,983		
	成果指標(1)		m/枚	475		421		389		369		345		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,398		1,308		1,479		1,429		1,524	特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.05		0.06		0.06		0.06		0.08		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	454		545		545		545			727
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	1,852		1,853		2,024		1,974		2,251		
	単位あたりコスト ÷		円	13,518		16,398		15,569		12,818		17,315		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	1,852		1,853		2,024		1,974		2,251			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		裏通りの交通事故発生件数 ・S56 413件 ・H3 658件 ・H13 1,174件											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		標識では伝えきれない情報や、法の規制を周知徹底する上での設置要望が多い。その反面、景観悪化を懸念する声もある。											
	今後の予測		交通安全施設整備事業を補完する面での需要が高まる。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	118.5	活動指標(2)の14年度達成率%	108.3	14年度予算執行率%	96.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	ほぼ計画どおり事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	一般的な看板については、契約方法を単価契約として事務の効率化を図っている。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:道路利用者に注意を呼びかける手段として、他の交通安全施設と複合的に実施することによる効果大きい。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:事業を必要としている道路は不特定多数の人が利用するので、対象の縮小や拡大はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:構造的に必要最小限の施設であり、これ以上コストを下げる余地はない。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ・区が主に管理する裏通りや生活道路上における交通事故の発生比率が上昇傾向にあり、区民や警察等からの設置要望が高くなっている。このことから、今後も看板の表示方式の変更による視認性の向上や取付け場所に合った形状等の工夫により、立看板の設置効果を高める。 ・交通事故多発箇所や速度抑制、違法駐車注意、行き止まり道路の予告等、立看板設置に対する区民要望に対応するため、年間の設置数量を増加する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	立看板設置要望が多く、現行予算額では需要に応えきれないので、16年度は設置数量を増加する見込。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯維持補修				整理番号	654		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	742	
係名		街路灯係			上位施策名				No		
予算事業名		街路灯維持補修		コード	60700		交通安全の推進			6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 35年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての区道利用者										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払いを行う。				活動指標名(式) (1) 街路灯管理数 (2) 街路灯修理件数						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。				成果指標名(式) (1) 街路灯稼働率 = ((街路灯管理灯数 × 365(日)) - (街路灯修理件数 × 修理日数)) / 街路灯管理灯数 × 365(日) (2) 街路灯修理率 = 街路灯修理件数 / 街路灯管理灯数						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		灯	24,785	24,890	24,918	24,895	24,923			
	活動指標(2)		件	1,241	1,308	3,468	1,324	3,468			
	成果指標(1)		%	99.99	99.99	99.96	99.99	99.96			
	成果指標(2)		%	5.01	5.26	13.93	5.32	13.91			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	200,261	210,248	217,111	211,864	229,440	特記事項		
	(内)委託費		千円	89,186	86,631	93,584	92,408	102,179			
	職員数(正規 非常勤)		人	6.80	4.22	4.26	4.23	3.77			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	61,764	38,330	38,694	38,421	34,243			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	262,025	248,578	255,805	250,285	263,683			
	単位あたりコスト ÷		円	10,572	9,987	10,266	10,054	10,580			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	262,025	248,578	255,805	250,285	263,683				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		街路灯管理数 平成5年 24,159灯 平成15年 24,895灯								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		街路灯は、防犯上の理由からも不点灯のないよう故障時の迅速な対応を求められている。								
	今後の予測		街路灯の整備は一定の水準に達しつつあり、今後施設が急増する可能性は少ない。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	99.9	活動指標(2)の14年度達成率%	38.2	14年度予算執行率%	97.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	電気料金の支払いは、平成13年度から「一括前払いサービス」を行うにより、経費を削減している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：夜間の区道照明は、基本的に街路灯によって保たれており、これを維持することは、防犯と道路交通の安全に大きく貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由：区道の交通安全施設であり、維持管理主体は道路管理者である区である。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：すべての区道利用者を対象に行う事務事業であるため、受益は偏っていない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：生活道路においては特定の道路利用者のみ利用を認めるということは不可能であり、対象は適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：維持管理費の低減を図るため、新設・改修時には施設のロングライフ化等をすでに進めており、現時点で余地はないが、今後コスト削減が見込まれる。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 電気料の支払いは「一括前払いサービス」の契約を今後も継続していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 業務を改善し、効率化を進める為地図情報システムを導入する。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯新設				整理番号	655		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	743	
係名		街路灯係				上位施策名				No		
予算事業名		街路灯新設・改修		コード	60850		交通安全の推進		6			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区街路灯設置基準					
	すべての区道利用者						(3) 道路法第42条					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		街路灯を新設する。				活動指標名(式)					
						(1) 街路灯新設数						
						(2) 街路灯設置要望件数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		街路灯を新設し、安全性を向上する。				成果指標名(式)						
						(1) 街路灯整備率 = 街路灯管理数 / (区道延長 × 有効率 / 30)						
						(2) 新設実績数前年度比率						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		①	灯	34	34	28	32	28			
	活動指標(2)		②	件	17	26	26	39	40			
	成果指標(1)		③	%	97.41	97.81	97.88	97.70	97.81			
	成果指標(2)		④	%	69.39	100.00		94.12				
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	3,886	4,344	5,009	4,767	5,011	特記事項 成果指標名(式)街路灯整備率の(1)「有効率」とは区道延長のうち商店街等により整備済みの率。「30」とは街路灯の標準設置間隔30m		
	(内)委託費		⑥	千円	3,857	4,317	4,861	4,729	4,861			
	職員数(正規 非常勤)		⑦	人	0.13	0.09	0.09	0.10	0.08			
	人件費	職員分(超勤分含む)		⑧	千円	1,181	817	817	908			727
		非常勤職員分		⑨	千円	0	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑧+⑨		⑩	千円	5,067	5,161	5,826	5,675	5,738			
	単位あたりコスト⑩÷①		⑪	円	149,029	151,794	208,071	177,344	204,929			
	財源	受益者負担分		⑫	千円							
		国・都等からの支出金		⑬	千円							
		特定財源計⑫+⑬		⑭	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源⑩-⑭		⑮	千円	5,067	5,161	5,826	5,675	5,738				
受益者負担比率⑫÷⑩		⑯	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区内住宅用地 平成3年1,795.5ha 平成13年1,815.5ha									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		ライフスタイルの変化のため深夜の活動が多くなり、街路灯の設置要望は依然強い。									
	今後の予測		街路灯の整備は一定の水準に達しつつあり、今後施設が急増する可能性は少ない。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	114.3	活動指標(2)の14年度達成率%	150.0	14年度予算執行率%	95.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	工事の発注工期の切れ目を短くする様に発注を計画している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)		理由：街路灯の整備は一定の水準に達しつつある。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である		理由：区道の交通安全施設であり、維持管理主体は道路管理者である。			
	(3) ①成果を向上させることができますか ある程度できる() ②成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ↓ 手段・方法の変更		理由：			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)		理由：すべての区道利用者を対象に行う事務事業であるため、受益は偏っていない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)		理由：生活道路においては特定の道路利用者のみ利用を認めるということは不可能であり、対象は適切である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)		理由：H12年度より街路灯新設数を縮小している。また、維持管理費の低減を図るため、新設・改修時には施設のロングライフ化等を進めており、現時点で余地はない。			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 整備工事の発注工期の切れ目を短くして、整備要望の対応向上を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯改修				整理番号	656		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	744	
係名		街路灯係			上位施策名				No		
予算事業名		街路灯新設・改修		コード	60850		交通安全の推進			6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 35年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準 (3) 道路法第42条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての区道利用者										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 老朽化した街路灯を改修する。 ポール・アーム改修は、設置後30年経過したものを、器具改修は設置後15年経過したものをそれぞれ施工する。				活動指標名(式) (1) 街路灯ポール・アーム改修数 (2) 街路灯器具改修数						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 街路灯を改修し、安全性を向上する。				成果指標名(式) (1) 街路灯ポール・アーム改修率 = 街路灯ポール・アーム改修数 / 街路灯ポール・アーム改修計画数 (2) 街路灯器具改修率 = 街路灯器具改修数 / 街路灯器具改修計画数						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		灯	147	183	150	194	350			
	活動指標(2)		灯	1,443	1,052	1,000	1,239	1,000			
	成果指標(1)		%	108.89	122	100	129.33	100.00			
	成果指標(2)		%	91.16	105.20	100.00	123.90	100.00			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	111,001	116,057	118,736	114,966	159,229	特記事項		
	(内)委託費		千円	107,862	113,741	116,336	112,268	155,840			
	職員数(正規 非常勤)		人	3.77	2.32	2.24	2.29	2.61			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	34,243	21,073	20,346	20,800	23,707			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	145,244	137,130	139,082	135,766	182,936			
	単位あたりコスト ÷		円	988,054	749,344	927,213	699,825	522,674			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	145,244	137,130	139,082	135,766	182,936				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		街路灯ポール・アーム改修数 平成5年 160灯 平成14年 194灯 街路灯器具改修数 平成5年 284灯 平成14年 1,239灯								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		街路灯は機能と構造の保全が常に求められており、その対応には"迅速さ"が望まれている。また、宅地の細分化による街路灯の移設要望が増大している。								
	今後の予測		街路灯の整備は一定の水準に達しつつある。しかし、ほとんどの街路灯は設置後30年以上経過しており、特に構造の安全性が低下している。今後、構造の更新を重点的に行い安全性を向上する必要性が生じる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	129.3	活動指標(2)の14年度達成率%	123.9	14年度予算執行率%	96.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	ほとんどの街路灯は設置後30年以上経過しているため、特に構造の安全度が相当程度低下している。そのため、街路灯改修の規模を拡大している。今後改修の進展により安全性が保全され、維持補修コストは減少していく。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:夜間の区道照明は基本的に街路灯のみによって保たれており、機能と構造を維持することは防犯と道路交通の安全に大きく貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:区道の交通安全施設であり、維持管理主体は道路管理者である区である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由:すべての区道利用者を対象に行う事務事業であるため、受益は偏っていない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:生活道路においては特定の道路利用者のみ利用を認めるということは不可能であり、対象は適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:現に危険な状態となっており、事業の必要性は高い。また、維持管理費の低減を図るため、新設・改修時には施設のロングライフ化等を進めており、現時点で余地はない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 実施計画に基づいて事業量を増加し、倒壊・落下を未然に防ぎ、安全性を向上させる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民有灯補修				整理番号	657		枝番号					
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	745			
係名		街路灯係				上位施策名		No						
予算事業名		民有灯助成（維持補修）		コード	61100		交通安全の推進		6					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 地方自治法第232条の2 (3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		既設私道街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理及び破損修理を行う。				活動指標名(式)							
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。				成果指標名(式)							
						(1) 私道街路灯稼働率 = ((私道街路灯管理数 × 365(日)) - (私道街路灯修理件数 × 修理日数)) / 私道街路灯管理灯数 × 365(日)		(2) 私道街路灯修理率 = 私道街路灯修理件数 / 私道街路灯管理数						
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		灯	8,237		8,256		8,282		8,257		8,283		
	活動指標(2)		件	583		1,047		1,210		708		1,210		
	成果指標(1)		%	99.98		99.97		99.96		99.98		99.96		
	成果指標(2)		%	7.08		12.69		14.61		8.57		14.61		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,269		30,001		34,894		34,162		33,767	特記事項	
	(内)委託費		千円	28,767		28,414		34,391		33,661		33,262		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.99		0.60		0.66		0.68		0.55		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,992		5,450		5,995		6,176			4,996
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	38,261		35,451		40,889		40,338		38,763		
	単位あたりコスト ÷		円	4,645		4,294		4,937		4,885		4,680		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	38,261		35,451		40,889		40,338		38,763			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		私道街路灯管理数 平成5年 8,313灯 平成15年 8,257灯											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		防犯灯としての理由からも不点灯のないように故障時の迅速な対応を求められている。											
	今後の予測		私道街路灯の整備は一定の水準に達しつつある。器具改修・ポール建替・改修事業と組み合わせれば、今後施設の維持補修量が急増する可能性は少ない。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	99.7	活動指標(2)の14年度達成率%	58.5	14年度予算執行率%	97.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	計画的に効率の良い建替えを行うことにより、今後維持補修コストが減少していく。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：夜間の道路照明は基本的に街路灯のみによって保たれており、これを維持することは防犯と道路交通の安全に大きく貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：私道の公共性を考慮し、条例に基づき区が行う事務事業である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：故障修理・補修に関しては、現に破損した街路灯の復旧であるため。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：すべての道路利用者を対象に行う事務事業であるため、受益は偏っていない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：生活道路においては特定の道路利用者のみ利用を認めるということは不可能であり、対象は適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：H12年度より私道街路灯塗装の質を見直している。現時点ではコスト縮減の余地はないが、今後コスト削減が見込まれる。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 塗装の質とボールの材質を見直すことにより、今後コストの削減が見込まれる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電気料助成				整理番号	658		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	746	
係名					街路灯係			上位施策名		No	
予算事業名					民有灯助成(維持補修)		コード	61100		交通安全の推進	6
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 地方自治法第232条の2 (3) 杉並区民有灯の整備等に関する条例及び施行規則				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		私道街路灯所有町会等の団体・すべての道路利用者				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				申請に基づき私道街路灯電気料の支払いなどを行う。						
	活動指標名(式)				(1) 電気料助成灯数 (2)						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)				私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。							
成果指標名(式)				(1) 電気料助成率 = 電気料助成灯数 / 電気料助成申請灯数 (2)							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		灯	8,552	8,573	8,749	8,555	8,768			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,431	26,999	28,175	24,329	26,893	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.83	0.54	0.53	0.49	0.44			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,539	4,905	4,814	4,451	3,997			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	31,970	31,904	32,989	28,780	30,890			
	単位あたりコスト ÷		円	3,738	3,721	3,771	3,364	3,523			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0	
		差引:一般財源 -		千円	31,970	31,904	32,989	28,780		30,890	
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		電気料助成灯数 平成10年 8,598灯 平成14年 8,555灯								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		事業の継続を強く期待されている。								
	今後の予測		私道街路灯の整備は一定の水準に達しつつあり、今後対象灯数が急増する可能性は少ない。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	97.8	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	86.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	平成13年度に比べ電気料金が値下がりにしたため、残が生じた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	電気料の支払いは、平成13年度から「一括前払いサービス」を行うことにより、経費を削減している。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：夜間の道路照明は基本的に街路灯のみによって保たれており、これを維持することは防犯と道路交通の安全に大きく貢献している。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：私道の公共性を考慮し、条例に基づき区が行う事務事業である。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由：			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：すべての道路利用者を対象に行う事務事業であるため、受益は偏っていない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：生活道路においては特定の道路利用者のみ利用を認めるということは不可能であり、対象は適切である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：電気料金「一括前払サービス」の契約により、該当するものの電気料金が通常払いより割安になる。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 「一括前払いサービス」の契約を今後も継続していく。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯新設				整理番号	659		枝番号			
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	747	
係名					街路灯係			上位施策名		No		
予算事業名					民有灯助成（建設補助）		コード	61300		交通安全の推進		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 地方自治法第232条の2 (3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				申請に基づき私道街路灯を新設する。				活動指標名（式）			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				私道街路灯を新設し、安全性を向上する。				成果指標名（式）			
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		灯	34	43	26	30	26				
	活動指標(2)		件	48	40	40	39	40				
	成果指標(1)		%	130.76	165.38	100.00	115.38	100.00				
	成果指標(2)		%	100.00	126.47		69.77					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,790	2,306	2,410	1,885	2,410	特記事項			
	(内)委託費		千円	1,790	2,306	2,410	1,885	2,410				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	545	454	454	363	363			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	2,335	2,760	2,864	2,248	2,773				
	単位あたりコスト ÷		円	68,676	64,186	110,154	74,933	106,654				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	2,335	2,760	2,864	2,248	2,773					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区住宅用地 平成3年1,795.5ha 平成13年1,815.5ha									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		私道街路灯は防犯上の理由などから依然強い設置要望がある。									
	今後の予測		土地の細分化等による私道新設にともない、私道街路灯の設置要望は今後も見込まれる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	115.4	活動指標(2)の14年度達成率%	97.5	14年度予算執行率%	78.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	新設工事費は、電柱に共架とポール建柱では、共架の方が費用が安い。平成14年度はポール建柱が少なく、ほとんど共架だったため、支出残があった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	工事発注工期の切れ目を短くする様、発注を計画している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：夜間の道路照明は基本的に街路灯のみによって保たれており、これを整備することは防犯と道路交通の安全に大きく貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：私道の公共性を考慮し、条例に基づき区が行う事務事業である。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：すべての道路利用者を対象に行う事務事業である、受益は偏っていない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：生活道路においては特定の道路利用者のみ利用を認めるということは不可能であり、対象は適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：維持管理費の低減を図るため、新設・改修時には施設のロングライフ化等を進めており、現時点で余地はない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 今後も工事発注工期の切れ目を短くして、整備要望の対応向上を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯改修			整理番号	660		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221607		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	748			
係名		街路灯係			上位施策名					No				
予算事業名		民有灯助成（建設補助）		コード	61300		交通安全の推進			6				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				46 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 地方自治法第232条の2 (3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他													
	すべての道路利用者													
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。 ポール改修は設置後30年経過したものを、器具改修は設置後15年経過したものをそれぞれ施工する。				活動指標名(式) (1) 私道街路灯ポール改修数 (2) 私道街路灯器具改修数									
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 私道街路灯を改修し、安全性を向上する。				成果指標名(式) (1) 私道街路灯ポール改修率 = 私道街路灯ポール改修数 / 私道街路灯ポール改修計画数 (2) 私道街路灯器具改修率 = 私道街路灯器具改修数 / 私道街路灯器具改修計画数										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		本	20		26		20	25		40			
	活動指標(2)		灯	81		87		95	87		400			
	成果指標(1)		%	100		130		100.00	125.00		100.00			
	成果指標(2)		%	85.26		91.58		100.00	91.58		100.00			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,603		8,995		9,271	9,135		30,632		特記事項	
	(内)委託費		千円	7,585		8,785		9,025	8,908		29,610			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.26			0.18			0.17	0.18			0.50
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,362		1,635		1,544	1,635		4,542		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0		0		
	総事業費 ++		千円	9,965		10,630		10,815	10,770		35,174			
	単位あたりコスト ÷		円	498,250		408,846		540,750	430,800		879,350			
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	9,965		10,630		10,815	10,770		35,174				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		私道街路灯ポール改修数 平成5年 17本 平成14年 25本 私道街路灯器具改修数 平成5年 97本 平成14年 87灯											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		私道街路灯は機能と構造の維持が常に求められており、その対応には"迅速さ"が望まれている。また、宅地の細分化による街路灯の移設要望が増大している。											
	今後の予測		私道街路灯の整備は一定の水準に達しつつある。しかし、ほとんどの街路灯は設置後30年以上経過しており、特に構造の安全性が低下している。今後、構造の更新を重点的にを行い安全性を向上する必要がある。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	125.0	活動指標(2)の14年度達成率%	91.6	14年度予算執行率%	98.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	私道街路灯の改修を拡大している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：夜間の道路照明は基本的に街路灯のみによって保たれており、機能と構造を保全することは防犯と道路交通の安全に大きく貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：私道の公共性を考慮し、条例に基づき区が行う事務事業である。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：すべての道路利用者を対象に行う事務事業であるため、受益は偏っていない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：生活道路においては特定の道路利用者のみ利用を認めるということは不可能であり、対象は適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：現に危険な状態となっており、事業の必要性は高い。また、維持管理費の低減を図るため、新設・改修時には施設のロングライフ化等を進めており、現時点で余地はない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 実施計画に基づいて事業量を増加し、倒壊・落下を未然に防ぎ、安全性を向上させる。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		河川維持管理				整理番号	661		枝番号		
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	750,751	
係名				工務係		上位施策名			No		
予算事業名				河川維持管理		コード	59300		道路交通体系の整備		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		根拠法令等		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 東京都区長委任条項 第11条 (2) (3)		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				管理用通路の清掃、除草、舗装補修及び河床の清掃、水草除去、法面の除草等を行う。				活動指標名(式) (1) 河川管理用通路面積 (2) 河床維持管理面積		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				河川環境の保全や河川の環境を良好に保つことで、安全で快適な住環境を提供する。				成果指標名(式) (1) 維持補修率 (2) 維持管理対応率		
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		m ²	117,500	118,119	118,119	118,119	118,119			
	活動指標(2)		m ²	111,900	142,999	142,999	142,999	142,999			
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	111,161	109,270	104,938	104,364	113,797	特記事項 平成15年度は、河川管理用通路舗装補修工事を実施する。(20,832千円)		
	(内)委託費		千円	104,269	92,263	82,151	81,728	82,153			
	職員数(正規 非常勤)		人	3.50	2.96	2.96	2.84	2.84			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	31,791	26,886	26,886	25,796	25,796			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	142,952	136,156	131,824	130,160	139,593			
	単位あたりコスト ÷		円	1,217	1,153	1,116	1,102	1,182			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	142,952	136,156	131,824	130,160	139,593				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		環境に対する関心が高まり、安全で快適な河川を維持することが一層大切になってきている。現在、河川環境整備の未整備区間において舗装等の老朽化が目立ち始めており、維持管理上、重要な課題となっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		管理用通路においては除草、剪定等、また河床では除草、水草除去及び堆積土砂による悪臭解消への要望がある。								
	今後の予測		今後も区民の環境に対する意識の高まりを配慮しつつ、良好な維持管理が必要である。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	99.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	計画どおりに維持補修を実施できた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成15年度においては、舗装の老朽化の改善として、妙正寺川河川管理用通路の舗装補修を行う。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 河川機能の保全や河川の環境を良好に保つためには、河川を適切に維持管理することが必要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 区長委任条項で区の事務となっている。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ その他	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 河川区域内の維持管理であり、受益者負担は考えられない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 利用者を限定できない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(対象の縮小)	理由: すでに清掃・除草の回数は減らしてはいるが、更に精査する。河川通路の一部区間では、花さかせ隊やボランティアグループ等による活動も行われている。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 舗装等の老朽化の改善を進める中で、バリアフリー化に努め、利用者にとって安全かつ快適な環境を維持する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 経費増を伴わない整備手法の検討が必要である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 平成16年度においても、舗装の老朽化の改善として河川管理用通路の舗装補修を行う。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		排水場維持管理				整理番号	663		枝番号						
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	756				
係名		工務係				上位施策名			No						
予算事業名		排水場維持管理		コード	59900		道路交通体系の整備			5					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				41 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法 第281条										
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)										
	阿佐谷排水場(阿佐谷南3-49 2台) 上荻排水場(上荻1-2 1台)				(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) JR線高架下の区道及び地下道の雨水・地下水等を排水する。				活動指標名(式) (1) 排水施設の保守点検回数 (2)										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) JR線高架下の区道及び地下道を安全に通行できるようにする。				成果指標名(式) (1) 点検実施率 (2)											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%			
							計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		回	6		6		6		6					
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	100		100		100		100					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	648		772		778		645		754		特記事項	
	(内)委託費		千円	394		394		394		394		394			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.48		0.02		0.02		0.02		0.02			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,360		182		182		182		182		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	5,008		954		960		827		936			
	単位あたりコスト ÷		円	834,667		159,000		160,000		137,833		156,000			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	5,008		954		960		827		936				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		本排水場は、昭和40年代前半、国鉄中央線の高架増線事業により掘削した区道の路面排水対策として設置、また踏切撤去に伴う地下道新設により設置された施設である。共に下水道施設に自然流下することが不可能なため施設が存続の限り、これを維持することが必要不可欠である。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。												
	今後の予測		施設の老朽化が見られ、数年内に改修工事が必要。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	82.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	施設維持であり、計画どおり実施。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: JR高架下の区道は低地にあり、降雨で冠水する。その水を排水することで通行を確保している。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的の事業である	理由: 区は道路管理者である。			
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由: 現行で対策は十分である。			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路管理者として行う業務である。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 道路利用者である不特定多数を対象としているため、限定も拡大もできない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 個々の設備が必要最低限であり、これ以上コストを下げることは不可能である。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input checked="" type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	老朽化が見られ、排水施設の点検回数は年6回は必要である。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共溝渠維持補修				整理番号	664		枝番号							
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221601		連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	758					
係名		工務係			上位施策名				No							
予算事業名		公共溝渠維持補修		コード	60300		環境美化の推進				15					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 22年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業											
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法 第281条2項											
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 公共溝渠(主に蓋掛けの水路敷)の利用者及び近隣の住民。				(2)											
					(3)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 公共溝渠のしゅんせつや土揚敷の除草を行う。				活動指標名(式)											
				(1) 維持管理面積												
				(2)												
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 公共溝渠の排水機能を保全し、悪臭や蚊発生防止に努め適正な維持管理を図る。				成果指標名(式)												
				(1) 維持補修対応率												
				(2)												
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%				
							計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		㎡	19,967		19,967		19,967	19,967							
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	100		100		100	100							
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,480		2,567		2,528	2,514		2,528		特記事項			
	(内)委託費		千円	2,480		2,567		2,528	2,514		2,528					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10			0.07			0.08				0.08		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	908		636		727	727		727				
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0		0				
	総事業費 ++		千円	3,388		3,203		3,255	3,241		3,255					
	単位あたりコスト ÷		円	170		160		163	162		163					
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0		0				
差引:一般財源 -		千円	3,388		3,203		3,255	3,241		3,255						
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0		0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		年々、公共下水道を敷設し道路化されてきているが、未だに蓋掛け水路や開渠部分が残されている。													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		蚊の発生、悪臭などの苦情がある。													
	今後の予測		公共溝渠は、公共下水道の敷設に活用されず残されたものであり、今後、水のみち(水路敷を埋め立てた歩行者専用道)として活用できるものは埋め立てを進め、整備を進める必要がある。また地方分権一括法の施行により区に財産が譲与され、境界を明確にし公共用地の保全を図ることが急務となったため、事業の重要性は増大する。													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	99.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	維持補修計画どおり実施できた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	水路のあり方検討会を立ち上げ、現在検討中である。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)		理由: 公共溝渠の排水機能を維持保全し、悪臭や蚊の発生の防止をするためには、適切に維持管理することが必要である。		
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である		理由: 管理者が行う責務がある。		
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加		理由:		
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)		理由: 事業の性格上、受益者負担は考えられない。		
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)		理由: 利用者及び近隣の住民を限定する余地はない。		
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)		理由: 毎年、定期的に工法及びコスト縮減に検討を重ね努力し、改善に努めている。		
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合			
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 本事業は、公共溝渠の埋め立てが進まない限り必要不可欠である。また、現在の事業規模は最低レベルの維持管理であり、縮小できる余地はない。現在水路のあり方検討会で暗渠化・埋め立てを含めて今後の方向について検討しており、その結果を見極め対応していきたい。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 暗渠化・埋め立てを図るためには、不法使用の是正が不可欠である。早期に境界を明確化し適正な用地確保を行うことが必要である。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		富士見丘通りの交通対策				整理番号	666		枝番号	
所属部課名		都市整備部維持課		コード	221604	連絡先電話番号	4603		昨年度整理番号	
係名		交通安全施設係			上位施策名				No	
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第2条、第45条、第85条 (3)					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 富士見丘通り及びその周辺道路を利用する歩行者									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 幹線道路の抜け道として通過交通の集中する富士見丘通りの周辺について、住民、学校、警察、区からなる、この通りの交通環境改善に関する連絡会の検討結果に基づき、道路管理者として交通安全施設の整備を行う。				活動指標名(式) (1) 交通安全対策を実施した地域 (2)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路上の交通安全施設の整備により歩行者の安全を確保し、地域住民が安心して買物や通学ができるようにする。				成果指標名(式) (1) (2)					
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		地区			1	1			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			9,453	9,453		特記事項 交通安全施設整備内容 ・滑り止め舗装 757㎡ ・視線誘導柱 12本 ・立看板 8枚 ・区画線 3327m ・道路反射鏡 3	
	(内)委託費		千円			9,453	9,453			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.42	0.43			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	3,815	3,906		0
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++		千円	0	0	13,268	13,359	0		
	単位あたりコスト ÷		円			13,268,000	13,359,000			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	13,268	13,359	0			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		富士見丘通りの交通量(H11調査、富士見ヶ丘駅前7:00~19:00) ・自動車 5,395台 ・歩行者 1,253人 ・自転車 834台 通過交通の集中する富士見丘通りを安全で快適な通りとするため、住民、学校、警察、区による連絡会が持たれた。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・車道狭さくについて、車両の速度抑制効果が高い反面で、渋滞を発生させたり商品搬入等の駐車が困難になる等の問題があり、住民の意見も賛否が分かれている。 ・道路施設面の整備だけではなく交通規制を含めた総合的な対策が望まれている。							
	今後の予測		富士見丘通り周辺に限定した事業は14年度限りで終了するが、今後も交通安全施設整備事業のなかで必要に応じて整備が必要となる。この路線に関しては、まだ多くの課題が残っているので、住民、警察、区による論議は続くものと予測される。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	ほぼ計画どおり事業を行った。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)		理由: 住民も参画の上で、従来にない規模の安全対策が図れた。		
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である		理由:		
	(3) 成果を向上させることができますか 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ		理由:		
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)		理由: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。		
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)		理由: 事業を必要としているのは道路を利用する不特定多数の人であるので、対象の縮小や拡大はない。		
	(6) コストを下げる余地はありますか		理由:		
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 統廃合			
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 14年度単年度事業。				